

2026 年 9 月 25 日

リコージャパン、新潟大学医学部、ボイトが連携協定を締結
～災害・救急医療分野における DX 推進と人材育成を通じ、地域医療の高度化を支援～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹、以下リコージャパン)は、国立大学法人新潟大学医学部(学部長:佐藤 昇、以下 新潟大学医学部)およびボイト株式会社(代表取締役社長CEO:永富 泰高、以下 ボイト)と、災害・救急医療分野におけるDX推進と人材の育成、先端技術の研究・開発ならびに社会実装により、相互の発展と地域社会への貢献を図ることを目的とした連携協定を締結しました。

本協定では、新潟大学医学部が有する災害・救急医療分野に関する知見と、リコージャパンの映像・通信技術、ボイトの音声コミュニケーション技術を融合し、災害現場、救急搬送中、医療機関内における情報共有の高度化と、医療従事者間の円滑なコミュニケーション実現に取り組みます。



左から、リコージャパン株式会社 取締役 常務執行役員 宮本裕嗣、
新潟大学医学部 佐藤昇 医学部長、ボイト株式会社 代表取締役社長 CEO 永富泰高氏

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : zjc_rjccd@jp.ricoh.com

お客様の問い合わせ先

E-mail : zjp_rmds_avmanaged@jp.ricoh.com



前列左から、リコージャパン株式会社 取締役 常務執行役員 宮本裕嗣、
新潟大学医学部 佐藤昇 医学部長、ポイト株式会社 代表取締役社長 CEO 永富泰高氏
後列左から、リコージャパン株式会社 デジタルサービス営業本部 新潟支社長 原島 徹、
新潟大学大学院医歯保健学研究科 特任教授 高橋 昌氏

背景

近年、自然災害の激甚化など災害・救急医療における迅速かつ正確な情報共有の重要性が高まっています。しかし、現場と本部・病院間の情報伝達やトリアージ情報の管理には依然として課題があります。こうした課題の解決に向けて、新潟大学医学部は災害医療教育や DMAT 活動*を推進し、リコージャパンは情報連携ソリューションを提供、ポイトは音声コミュニケーションや電子トリアージ技術の開発を進めています。三者はそれぞれの強みを生かし、災害医療体制の高度化に取り組んでいます。

*DMAT (Disaster Medical Assistance Team: 災害派遣医療チーム) 活動とは、大規模災害や重大事故が発生した際に、被災地へ迅速に派遣され救命医療を行う活動です。

連携事項

次に掲げる事項について、連携し協力して取り組みます。

1. 映像・音声・通信技術・AI 技術を活用した災害・救急医療 DX に関する研究・開発
2. 災害現場におけるリアルタイム情報共有技術の検証
3. 救急搬送時の映像・音声データ活用に関する実証
4. 音声 AI を活用した電子トリアージおよび医療情報共有手法の高度化
5. 災害・救急医療分野における先端技術の社会実装に向けた取り組み
6. 教育・訓練等を通じた医療 DX 人材育成への貢献

目指す姿

災害現場、救急搬送中、病院内などで発生する映像・音声・各種データを一元的に収集・共有し、リアルタイムでの状況把握と事後分析を可能にする環境の構築を目指します。

- ・360 度映像による現場状況のリアルタイム共有
 - ・音声によるトリアージ内容のリアルタイム記録
 - ・救急隊と病院間の情報共有の効率化
 - ・災害医療訓練や実災害で得られたデータの分析と活用
- などを通じて、災害・救急医療体制のさらなる高度化に貢献していきます。

各者の役割

リコージャパン

これまで全国の災害医療分野で培った映像・通信技術の知見を生かし、新潟大学医学部およびボイトとともに、地域社会に貢献する新たな価値創造に取り組んでまいります。

新潟大学医学部

本協定を通じて、災害・救急医療分野における研究・教育・実践をさらに発展させるとともに、専門人材を育成し、社会に貢献できる新たな医療 DX モデルの構築を目指します。

ボイト

音声コミュニケーション技術を活用した現場コミュニケーションの高度化を通じて、災害・救急医療の現場課題解決に貢献し、社会実装を加速してまいります。

*VOYT および VOYT のロゴは、ボイト株式会社の登録商標です。

*社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>